

ANNUAL REPORT 2025

公益財団法人静岡県文化財団

2025年度年次報告書

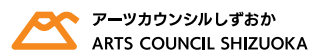


公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL. 054-203-5710 FAX. 054-203-5716
<https://www.shizuoka-cf.org/>



<https://www.granship.or.jp/>



<https://artscouncil-shizuoka.jp/>

ご挨拶

公益財団法人静岡県文化財団は、1984年5月の設立以降、個性豊かな県民文化の振興を図り、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与することを目的として、各種の文化芸術の振興を図る事業に取り組んでまいりました。また、1999年からは、静岡県コンベンションアーツセンター グランシップの管理運営業務を県から受託しているほか、2021年には、当財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置し、県民主体の創造的な活動を支援しております。

さて、2025年度を振り返りますと、人々の価値観や生活様式の多様化、ニーズの高度化などへの対応が求められる中、人件費や諸物価の高騰がさらに進み、当財団にとって引き続き厳しい状況となりました。

県では、「ウェルビーイング社会の実現」を目標に、2026年3月に第6期文化振興基本計画を策定いたしました。「ウェルビーイング社会」の概念は、単に経済的な豊かさのみならず、心の豊かさ等、形而上的な豊かさを包括するものと考えられます。であるならば、「ウェルビーイング社会の実現」には、当財団の果たすべき役割が、ますます重要になるものと考えられます。

そのような中、企画事業では、静岡にゆかりのあるアーティストの起用や、2024年から開催しているオリジナルの音楽イベント「静岡JAM」等の事業を展開して新たな客層を開拓するとともに、あらゆる世代の多様化したニーズに応えるために幅広いジャンルの公演を行い、県外からも多くのお客様にご来場いただきました。さらに、子どもたちの文化的な体験格差の解消を目指す「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」を引き続き展開し、県内企業3社様からご協賛をいただいて、若い世代への鑑賞支援を継続して行っておりま

した。グランシップの施設利用においては、コンベンションホールとして引き続き国際会議や国内学会等の誘致に力を入れ、国内外との交流の拠点としての役割を果たしました。また、映画やミュージックビデオ、CMの撮影といった新しい利用方法を提案し、積極的に誘致を行いました。さらに、新図書館や北口アリーナの建設を見据えて、屋外広場を活用したイベントを推進するなど、東静岡地区のにぎわい拠点としての役割も強化しております。あわせて、施設設備については、故障箇所の迅速な修繕や県と連携しての計画的な設備更新を実施し、安心・安全、快適な施設の提供を図ってまいりました。

アーツカウンシルの活動では、数年間にわたって取り組んできた、文化的な視点からの空き家活用について、一定の成果を得ることができました。

当財団は、今後も一層の研鑽を重ね、時代に即した事業展開を図ることで、文化の力による「ウェルビーイング社会の実現」を目指してまいります。

公益財団法人静岡県文化財団 理事長 中西勝則



目次

2025年度 TOPICS	3
県内各地で活動する文化財団	4
文化芸術の体験	6
創造的な活動への支援～アーツカウンシルしずおか～	16
グランシップの施設利用	20
その他の取組	25
ご協賛・ご協力いただいた皆様	28
事業体系図	29
決算状況	30
沿革・組織図	31

2025年度 TOPICS

●「大ホール・海」照明設備の改修工事完了

グランシップの「大ホール・海」において静岡県の実施した照明設備改修工事が完了し、2026年3月に運用を再開した。照明のLED化により使用電力量を約65%削減し、環境負荷の低減と鑑賞環境の向上を実現することができた。

このリニューアル後初の大規模コンサートとして、3月21日には「辻井伸行×三浦文彰 究極の協奏曲コンサート」を開催した。国内外の第一線で活躍する両ソリストと読売日本交響楽団による共演は大きな反響を呼び、5階席まで埋め尽くす約3,000人の来場者を迎え、ホールの再開を飾るにふさわしい公演となった。



●第9回「世界お茶まつり2025“秋の祭典”」



3年に一度開催される「世界お茶まつり」の“秋の祭典”が、2025年10月23日から26日までグランシップ全館で行われた。国内外からの出展者によるお茶及び関連商品の総合見本市、日本を含む世界各国のお茶の飲み比べの体験プログラムなどを開催。併せて、お茶の機能性・有機栽培・市場拡大等についての学術発表などを通じて、お茶が持つ魅力を国内外に向けて発信し、インバウンド需要の取り込みや日本茶の海外展開、生産振興、若い世代への需要の拡大を図った。本祭典には、名誉総裁を務める彬子女王殿下にもご臨席いただき、4日間で25か国から約136,400人が参加した。静岡が誇る茶業の新たな価値を創造するとともに、文化交流や産業振興を促進する機会となった。

県内各地で活動する文化財団 ー文化芸術が笑顔を運ぶ

県民一人ひとりが身近な場所で文化芸術に触れ創造性を発揮できるよう、県内全域で出前公演やアウトリーチ事業、地域における創造的な活動の支援等を実施した。文化の力によるウェルビーイング社会の実現に向け、県内全域において文化芸術の振興を図った。

1 グランシップ 子どもアート体験!学校プログラム
2 グランシップ登録アーティスト ミニコンサート
3

6月～1月
県内小学校・特別支援学校12校 計1,217人

静岡ゆかりのアーティストが県内各地の学校に生演奏を届けるプログラムを12校で実施。熱海市立泉小学校では、フルートアンサンブル Bouquetが演奏や子どもたちとの対話を通し、音楽の自由さや面白さを伝えた。教員からは「普段とは異なる子どもたちの一面を見ることができた」との感想が寄せられた。

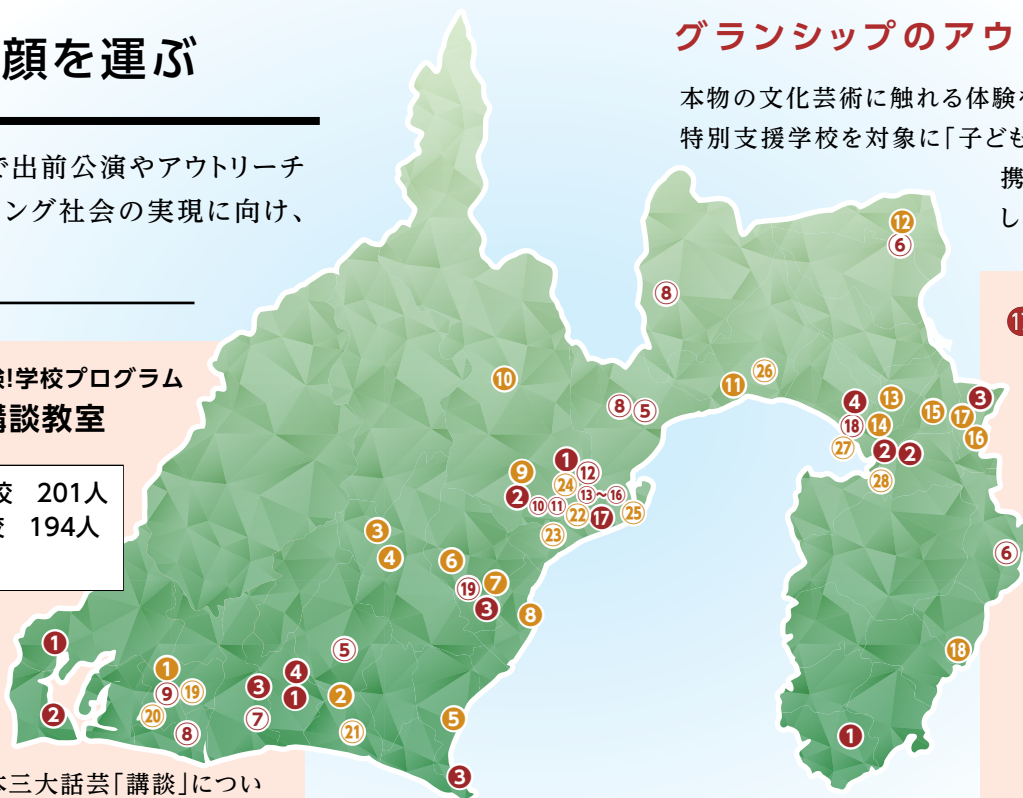


4 グランシップ 子どもアート体験!学校プログラム
六代目宝井馬琴監修 講談教室

11/4(火) 袋井市立袋井南小学校 201人
11/28(金) 沼津市立第五小学校 194人
宝井琴星、宝井琴鶴



日本三大話芸「講談」について、張り扇や釈台といった独特の道具や基本を学んだ後、学校オリジナルのテキストを用いて講談に挑戦。さらに、静岡県出身の講師師・故 六代目宝井馬琴の一番弟子である宝井琴星の実演を鑑賞した。子どもたちが講談を「知る」「体験する」、そして本物を「聴く」ことを通じ、日本の話芸の魅力を次世代へ継承する機会となった。



グランシップのアウトリーチプログラム

本物の文化芸術に触れる体験を通して子どもたちの想像力や生きる力を育むことを目指し、県内の小学校・特別支援学校を対象に「子どもアート体験!学校プログラム」の実施校を公募、実施した。また、県内大学連携による特別講座や、他の公立文化施設での出前公演等、様々な団体と協働しながら、より広域的に文化芸術を届けた。

17 グランシップ伝統芸能普及プログラム
『能楽から見る日本の自然観』

12/2(火)
静岡大学 人文社会科学部学部棟 104人

「静岡能～雛の宴～」関連事業として、静岡大学にて特別講義を開催。講師に人間国宝の大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家)を迎え、留学生や他大学の学生も広く参加した。本物の芸が放つ迫力ある生演奏をはじめ、小鼓の構造観察や呼吸を合わせる実践的な体験などを通じ、受講者は文字情報だけでは得られない伝統芸能の「間」や「美意識」を、実感をもって深く学ぶ機会となった。



●地域クリエイティブ支援

実施団体	活動拠点	プログラム名称
1 NPO法人クリエイティブサポートレッツ	浜松市	アートによる福祉施設の社会資源化を進めるためのリサーチ事業
2 掛川百鬼夜行実行委員会	掛川市	掛川百鬼夜行 第四夜
3 NPO法人クロスメディアアしまだ	島田市	大井川芸術創生譚-UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川の先へ
4 アートひかり	島田市	伊久美劇場
5 海と山の文化市実行委員会	牧之原市	いいあんばいプロジェクト
6 竹部(バンブ)	藤枝市	竹林劇場プロジェクト「やつやまわらう」
7 藤枝宿世代をつなぐ商店街づくり実行委員会	藤枝市	藤枝ノ演劇祭5
8 一般社団法人トリナス	焼津市	アート活動を通じたこども・若者の社会表現と発信プロジェクト
9 用宗アートプロジェクト	静岡市	用宗アートプロジェクト
10 たまっぶ	静岡市	山村の文化を次の世代へ玉川新聞プロジェクト
11 井戸端会議室	富士市	井戸端会議室
12 小山町商工会	小山町	推し活 OYAMA Hometown FES
13 しゃぎりフェスティバル実行委員会	三島市	地域コミュニティ活性化に向けた伝統芸能活用プロジェクト
14 三島アートプロジェクト実行委員会	三島市	三島満願芸術祭2025
15 一般社団法人スケラボ	函南町	東海道中踊栗毛
16 一般社団法人熱海怪獣映画祭	熱海市	熱海発!!次世代クリエイター資源化プロジェクト
17 熱海未来音楽祭	熱海市	第7回熱海未来音楽祭
18 イナトリアートセンター運営委員会	東伊豆町	第二期イナトリアートセンター計画

文化芸術による地域振興プログラム (アーツカウンシルしずおか)

アーツカウンシルしずおかでは地域資源の活用や社会課題にアプローチする先駆的なアートプロジェクトを「地域クリエイティブ支援」、「地域はじまり支援」の2つのカテゴリで公募により選定し支援を行っている。2025年度はまちづくり、観光、福祉、教育、産業、文化芸術等多様な分野において活動する団体による28件のプロジェクトを採択し、支援を実施した。
→アーツカウンシルしずおかについてはP16～19参照

●地域はじまり支援

実施団体	活動拠点	プログラム名称
19 ハマルおんがくプロジェクト	浜松市	らららリズムくらぶ
20 つくるぞうのへや	浜松市	デモクラティックスクール びーだつくる人々
21 合同会社たゆたう	掛川市	地域医療つながりプロジェクト
22 HAHAHANO. LABO	静岡市	「クビ」が「ウチクビ」か
23 一般財団法人静岡市国際交流協会	静岡市	2025夏休みこどもシアター
24 テーブルシアター	静岡市	つながるはじまるプロジェクト [KIKKAKE]
25 三保海浜マラソン実行委員会	静岡市	第4回三保海浜マラソン
26 わいワイクラブ	富士市	MIMASプロジェクト アート×音楽×α
27 Artspace 入さ岩崎商店	沼津市	沼津影絵量プロジェクト
28 アウラの森芸術舎	伊豆の国市	アフリカルチャー・クリエイティブ・エイジング&インクルーシブ・プロジェクト

公演名	開催場所
1 グランシップ登録アーティストミニコンサート (フィオリネ)	南伊豆町立南中小学校 静岡県立静岡北特別支援学校 静岡県立袋井特別支援学校 浜松市立尾奈小学校・平山小学校 (合同開催)
2 グランシップ登録アーティストミニコンサート (Flautie)	伊豆の国市立長岡北小学校 静岡県立伊豆の国特別支援学校 静岡市立服織西小学校 静岡県立浜名特別支援学校
3 グランシップ登録アーティストミニコンサート (フルートアンサンブルBouquet)	熱海市立泉小学校 静岡県立藤枝特別支援学校 御前崎市立御前崎小学校 静岡県立浜松特別支援学校 磐田分校
4 六代目宝井馬琴監修 講談教室	沼津市立沼津第五小学校 袋井市立袋井南小学校
5 人形浄瑠璃文楽 出前講座	静岡市立清水小島中学校 掛川市立第一小学校
6 玉川奈々福の浪曲教室	伊東市立富戸小学校 御殿場市立高根小学校
7 狂言ワークショップ	磐田市立福田小学校
8 歌舞伎レクチャー	富士宮市立柚野中学校 浜松市立江南中学校 静岡市立両河内小中学校

公演名	開催場所
9 詩人と語ろう!ことばを語ろう!	浜松学芸高等学校
10 貼り絵ワークショップ	静岡大学教育学部附属特別支援学校(中学部)
11 誰もがWonderfulアート/造形ワークショップ「糸巻きは彫刻」	静岡大学教育学部附属特別支援学校(中学部)
12 村田陽一による吹奏楽部演奏指導	静岡県立静岡東高等学校
13 グランシップ×県内大学連携事業 歌舞伎入門講座	グランシップ
14 グランシップ×県内大学連携事業「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	グランシップ
15 グランシップ×県内大学連携事業 宝井琴鶴の講談教室	グランシップ
16 グランシップ×県内大学連携事業 玉川奈々福の浪曲教室	グランシップ
17 グランシップ伝統芸能普及プログラム『能楽から見る日本の自然観』	静岡大学人文社会科学部
18 スティーヴ・ガッド in BHGプロジェクト	沼津市民文化センター
19 第2期グランシップ登録アーティスト Presents キッズコンサート 音のおもちゃ箱 in 藤枝	藤枝市民会館

文化芸術の体験

公益財団法人静岡県文化財団では、地域や世代、障がいの有無にかかわらず多くの県民が多彩な文化芸術に触れる機会を持てるよう取り組んでいる。特に子どものうちから文化芸術を体験し、豊かな感性や想像力を育むことを重点目標の一つとしている。

この地から世界へ ―静岡が誇る表現者たちの凱旋と躍進

2025年度は、静岡県出身および在住の実力派アーティストにフォーカスした事業を重点的に実施した。静岡の文化と響き合いながら第一線で活躍する、6名の公演・展覧会について紹介する。

村田陽一（トロンボーン / 静岡市出身）、横坂源（チェロ / 浜松市在住）、ソエジマトシキ（ギター / 静岡市在住）
掛井五郎（彫刻家 / 静岡市出身）、春風亭梅朝（落語家 / 静岡市出身）、水沢なお（詩人 / 長泉町出身）

●村田陽一ビッグバンド

11/15(土) 中ホール・大地 551人

9/21(日) 静岡県立静岡東高等学校吹奏楽部 演奏指導 42人

静岡市出身のトロンボーン奏者・作編曲家の村田陽一と、ジャズ界の精鋭メンバーによるビッグバンド公演を開催。

公演に先駆け、出身校である静岡県立静岡東高等学校吹奏楽部を訪問し、演奏のアドバイスをを行うとともに、生徒たちとの交流を深めた。公演では、ジャンルの枠に留まらない多彩なサウンドに加え、地元静岡への愛を感じるトークも繰り広げられ、出演者と観客が一体となり、改めて音楽の魅力を体感できるステージとなった。



●チェロ・カルテット 横坂源／上野通明／水野優也／伊東裕

2026/2/11(水・祝) 中ホール・大地 614人



浜松市在住のチェリスト・横坂源が、第一線で活躍する若手チェリストとともに一日限りのカルテットを結成した。古典から近現代まで幅広い時代の作品を披露し、一曲ごとに異なる表情豊かな響きで観客を魅了した。このメンバーによるカルテットは今回が初めてとあって県内外から多くのファンが訪れ、4人が生み出す重厚で芳醇な音色に聴き入った。終演後は、一日限りの特別な演奏会を大いに楽しんだ来場者から、惜しめない拍手が送られた。

●静岡JAM2026 ～WONK／ソエジマトシキ～

2026/2/23(月・祝) 中ホール・大地 746人

幅広い音楽性で日本の音楽を再定義するエクスペリメンタル・ソウルバンド WONKと、国内外に多くのコアなファンを持つ静岡在住のギタリスト・ソエジマトシキが自身のバンドを率いて出演した「静岡JAM」第2弾。ソエジマトシキと静岡のコーヒESHOP hugcoffeeによるオリジナルブレンドの販売など、公演前から広く展開。それぞれのバンドの持ち味が存分に発揮された極上のグルーヴが、県内外からの来場者で熱気あふれる中ホールを包み込んだ。



当日のソエジマトシキの演奏を収録した動画をYouTubeで公開中



●グランシップ誰もがWonderfulアート

9/20(土)～10/5(日) 展示ギャラリー 8,002人

障がいの有無や個人を取り巻く社会的状況等にかかわらず、多様な人々が参画する展示を開催することで、表現や個性を認め合う多様性のある社会を考える機会を目指す本事業。今回は静岡県出身の世界的な彫刻家・掛井五郎の展覧会「すべての生命を抱きしめる」と、静岡県内の特別支援学校児童・生徒による作品展の2つの展示で構成。「特別支援学校の子どもたちの素晴らしい作品とプロのアーティストの作品が相乗効果を生んでいた」と、アーティストと特別支援学校生徒の作品と一緒に展示するといった本事業の趣旨を好意的に受け止めてもらうことができた。



●グランシップ寄席～春風亭一朝・一之輔・梅朝～

2026/2/14(土) 会議ホール・風 423人



多彩な寄席芸を楽しめる人気の「グランシップ寄席」。今回は、江戸落語の本格派 春風亭一朝、屈指の人気を誇る春風亭一之輔とともに、静岡県静岡市出身の春風亭梅朝を出演者に迎えた。実力派師弟が魅せる本格的な落語で、会場を寄席の世界へと引き込み、江戸の粋あふれる高座に、満席となった会場は笑い声に包まれた。

●2025年しずおか連詩の会

11/9(日) 会議ホール・風 127人

出演:野村喜和夫、川口晴美、星野智幸、環ROY、水沢なお

静岡県長泉町出身の気鋭の詩人・水沢なおをはじめ、小説家やラッパーなど多彩な言葉のアーティスト5名が集結。3日間で40編の「連詩」を創作し、自らの朗読と解説とともに披露した。言葉が紡がれる発想の瞬間や、互いの表現が共鳴し合う過程に来場者は引き込まれ、日本語が拓く新たな可能性やその魅力に触れる機会となった。また事前事業として浜松学芸中学校・高等学校でワークショップを開催。詩人との交流を通じ、若い世代に日本語の豊かさや「言葉を紡ぐ楽しさ」の魅力を伝える場となった。



地域とともに創造・発信 ―広がる文化のパートナーシップ

行政機関や教育文化施設、県内外の企業や民間団体との連携を深め、地域の魅力を最大限に引き出す協働事業を展開。ジャンルを超えたパートナーシップにより、静岡ならではの豊かな体験を創出した。

● 假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」

6/7(土) 中ホール・大地 533人



華道家・假屋崎省吾のトークと、ピアニスト・横山幸雄による名曲の演奏に加え、ピアノの旋律に合わせた花いけデモンストレーションとのコラボレーションが実現したコンサート。舞台上で静岡県産の花をふんだんに使用したほか、関連企画として、ロビーでは県農産振興課と協働し、静岡県産の花の一輪挿し体験や花の販売を実施した。音楽と華道が織りなす華やかで美しい舞台は、来場者に心豊かな体験をもたらし、文化芸術が生み出すウェルビーイングを実感する機会となった。



● ヨナス・アウミラー ピアノ・リサイタル

6/27(金) 中ホール・大地 228人

2024年の第12回浜松国際ピアノコンクールで第2位となったドイツ出身のピアニスト、ヨナス・アウミラーによるリサイタル。静岡県が誇る国際コンクールを、開催地である浜松市だけでなく中部地域でもより身近に感じてもらえるよう、浜松市文化振興財団との連携により実現した。コンクールでも使用されたカワイSK-EXで、ショパンやブラームスなどの名曲を披露。終演後のサイン会では、写真撮影などを通して来場者との交流を深め、応援したいアーティストとして静岡県民から親しまれる機会となった。



● グランシップサマーじどうかん

8/1(金)～11(月・祝) 3階ロビー 2,784人



夏休みの11日間、子どもたちが涼しく安全に遊べる居場所を提供するために開催。「世界のこども劇場」の来場者をはじめ多くの親子でにぎわった。ふじのくに地球環境史ミュージアムや静岡県立中央図書館、学習支援団体との連携により「ミニ博物館」や「絵本のひろば」、「宿題サポート」などを実施。運営にはグランシップサポーターやインターンが携わり、地域と連携することで生まれた県民交流の場となった。



● グランシップトレインフェスタ2025

5/17(土)～5/18(日) 全館 22,310人

県内鉄道会社9社の他、同時開催となった「静岡ホビーショー」に参加する企業・団体が多数出展。県内外から30を超える鉄道模型クラブが結集した。工夫を凝らした模型展示やジオラマ、鉄道会社の限定グッズなどを紹介し、幅広い世代を魅了した。さらに、公共交通機関の利用促進を図るためJR東海・静岡鉄道と初連携したキャンペーンを展開し、多数の来場者を集めノベルティも好評を博した。多様な企業との連携による波及効果によって例年以上に多くの家族連れや鉄道ファンで賑わう2日間となった。



● グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2025

8/10(日) 大ホール・海 1,020人

県内で活動する初参加の1団体を含む11バンドが出演し、小学生から70代まで幅広い世代の計216名が、それぞれ個性あふれる演奏を披露して会場を大いに盛り上げた。親子席や楽器体験コーナーは、小さな子どもや家族連れでにぎわい、初めて楽器に触れる子どもたちの姿も見られた。音楽を気軽に身近に感じられる公演として、ジャズファンはもちろん、幅広い県民に親しまれる夏の恒例イベントとなっている。



● グランシップ 冬のおくりもの2025 オリジナルクリスマスツリー

11/9(日)～12/25(木)
1階エントランス 4,433人
企画デザイン:
静岡大学 川原崎デザイン研究室
制作:お茶染めWashizu.(鷲巣恭一郎)
協力:駿府の工房 匠宿



静岡大学にオリジナルクリスマスツリーの制作を依頼。同校教育学部教育美術専修の教員と学生は、お茶染め職人の鷲巣恭一郎氏と共創し、お茶染めオーナメントで装飾した「Tea Time Tree」をデザイン。制作には県内の小学生も参加し、地域の教育機関と地元の職人のコラボレーションから生まれたグランシップだけでしか見られないツリーは、クリスマスシーズンに来場する多くの人の目を楽しませた。

世界トップクラスの演奏と革新のステージ

世界的に高い評価を受けるトップアーティストや、日本が誇る伝統芸能など、伝統と革新が交差する先進的な公演をラインナップ。本物の響きと圧倒的なパフォーマンスを通じて、観客に深い感動と新たな刺激を届けた。

●矢野顕子トリオ featuring ウィル・リー&クリス・パーカー 8/29(金) 中ホール・大地 801人



矢野顕子、ウィル・リー、クリス・パーカーの黄金トリオによるジャズ公演。オリジナル曲からカバー曲まで自在なレパートリーを披露した。

ジャズの聖地であるブルーノート東京公演に先駆け、その世界観を静岡で味わえるとともに、ホールならではの楽曲を加えた特別なプログラムを展開した。ソールドアウトとなった会場は終始熱気に包まれ、来場者の笑顔と感動にあふれる、記憶に残る一夜となった。

●【グランシップ出前公演（沼津市）】スティーヴ・ガッド in BHGプロジェクト

11/3(月・祝) 沼津市民文化センター 小ホール 485人

「ドラムスの神様」スティーヴ・ガッド率いるトリオプロジェクトのジャズ・ライブを出前公演として沼津市民文化センターで実施。東部地域を中心に県内のジャズファンが集い、満席となった。80歳を感じさせないスティーヴ・ガッドの極上のグルーブと洗練されたドラミング、3人の息の合った圧倒的なサウンドが観客を魅了し、「最高だった」「上質な時間を過ごせた」と高い満足度を得た。沼津市振興公社との連携のもと、県内各地へ文化芸術を届ける取組の一環として、意義深い公演となった。



●鈴木雅明指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン J.S.バッハ：管弦楽組曲（全曲）

9/15(月・祝) 中ホール・大地 658人



バッハ演奏の第一人者として国際的な名声を博す鈴木雅明が率いる、世界を舞台に活躍する古楽器オーケストラが、バッハの代表的器楽曲「管弦楽組曲」の全曲演奏を行った。「G線上のアリア」の通称で広く知られる第3番エアを含め、当時の楽器で全曲を聴くことのできる貴重な機会とあり、バッハ愛好家をはじめクラシックファンの注目を集めた。



公演に先立ち、8月30日には鈴木雅明による「管弦楽組曲」の事前レクチャーも実施し、曲の成り立ちや背景を深く知ることができたと多くの来場者から好評を得た。

●グランシップ リサイタル・シリーズ

① フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル

7/4(金) 中ホール・大地 243人

② ヤメン・サーディ ヴァイオリン・リサイタル

12/11(木) 中ホール・大地 302人

世界のトップステージに立つ期待の若手演奏家の卓越したパフォーマンスを静岡県内で味わえる2つの公演。クラシック界にとどまらず多ジャンルで活躍するルクセンブルク生まれのピアニスト、フランチェスコ・トリスターノは、バッハの枠にとらわれない革新的な演奏を披露し、観客を魅了した。

2025年9月にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに正式就任したパレスチナ出身のヤメン・サーディは艶やかなヴァイオリンの音色を響かせ、観客を深い感動へといざなった。



●人形浄瑠璃 文楽（2公演）

11/8(土) 中ホール・大地 1,452人

当財団では、ユネスコ無形文化遺産である「人形浄瑠璃 文楽」を県内で唯一毎年開催している。今回は「義経千本桜」「曾根崎心中」等の人気演目が揃い、例年以上の賑わいを見せた。太夫・三味線・人形遣いの三位一体で創られる舞台は世界に類を見ず、その情感溢れる表現に観客は心を打たれた。ロビーでは、文楽人形によるお出迎えや富士市出身の人形遣い・桐竹勘次郎によるミニレクチャー、日本茶インストラクターによる呈茶サービス等を実施。世界に誇る日本の伝統芸能に親しみを持ってもらうことができた。



●グランシップ 静岡能～雛の宴～

2026/3/14(土) 中ホール・大地 676人



日本の歳時記を代表する「桃の節句」にちなみ、能「西王母」と狂言「節分」を上演。第一部では人間国宝・大倉源次郎（大倉流小鼓方十六世宗家）による解説や体験企画を実施し、能楽初心者からも「気軽に楽しめた」と大変好評を得た。

またロビーでは、宝生流とゆかりの深い加賀地域の郷土人形「加賀八幡起上がり」等を展示したほか、当館が開館以来取り組んできた伝統芸能の歩みをパネル等で紹介。静岡県全域の子どもたちを対象に、多様なオリジナルプログラムを展開している実績を広く伝える機会となった。

次世代につなぐ「文化芸術との幸せな出会い」

未来を担う子どもたちや若い世代が本格的な文化芸術に親しみ、その魅力に触れる機会を積極的に創出した。いずれの公演も、芸術的質の高さに加え、丁寧な解説やトークを交えることで親しみやすさを両立させている。

●国立劇場 歌舞伎鑑賞教室（2公演）

6/23(月) 中ホール・大地 1,409人 中村扇雀、中村錦之助 他

日本の伝統芸能・歌舞伎を次世代へ伝えるため、静岡県内の中学生・高校生を対象として例年実施している鑑賞事業。前半は歌舞伎俳優が歌舞伎の魅力や約束事、作品の見どころを分かりやすく紹介し、後半は名作『土屋主税』を上演。当財団による学校団体対象の鑑賞料金割引や交通費支援制度が活用され、近郊のみならず遠隔地も含め県内全域からの来場へとつながった。また、本公演を前に県内3校の中学校で国立劇場職員による事前レクチャーを実施。歌舞伎の基礎知識や演目への学びを通じて生徒の鑑賞理解を深めた。



●令和7年度子どもたちの文化芸術鑑賞推進事業 グランシップ 中高生のためのオーケストラ

11/27(木) 中ホール・大地 354人 指揮:松川智哉 管弦楽:富士山静岡交響楽団

静岡県内の中学生・高校生が本格的なオーケストラのコンサートを体験する機会として実施。生徒たちは、入場から終演まで一連の鑑賞体験を通じて生の芸術に触れた。2025年は静岡県を代表するプロオーケストラ「富士山静岡交響楽団」が、チャイコフスキーの交響曲第4番を演奏。生徒たちは圧倒的な音量と迫力ある演奏を存分に楽しんだ。また、静岡県立中央特別支援学校での事前レクチャーや公演鑑賞を通じて、より多くの生徒たちが生演奏の魅力を感じ取る機会を広げた。



●グランシップ静岡能 能楽入門公演

9/13(土) 中ホール・大地 624人 山階彌右衛門、観世流能楽師 他

能楽初心者も気軽に鑑賞できる人気公演。公演に先立ち開講した「わくわく能楽教室」では、小学生から大学生27人が能楽師の指導のもと稽古に励み、当日にその成果を披露した。公演では、スクリーンを使用した能面解説や謡体験の後に、動きが多くわかりやすい演目「熊坂」をダイジェスト上演。昨年度に続きSBSラジオとの連携トークイベント「DJ Roniと行く!はじめての伝統芸能」も実施した。若い世代の育成とあわせ、伝統芸能の魅力を幅広く届ける機会となった。



文化を支える人を育てる

県民誰もが文化芸術を体験できる環境づくりを進めるため、表現者、支援者それぞれを対象とした人材育成事業を推進した。音楽を届けるアーティストのスキルアップから、文化事業を支える施設職員の専門性向上まで、多角的なアプローチを通じて地域の文化基盤の強化を図っている。

●グランシップ登録アーティスト事業

オーディションで選ばれた静岡県出身・在住等の地域ゆかりの音楽家が、半年間にわたる研修プログラムを受け、3年間の任期で活動。県内小学校・特別支援学校等でのアウトリーチやグランシップ主催公演に関連したコンサートで活躍している。2025年度は第2期グランシップ登録アーティストの活動2年目にあたり、出前公演として藤枝市民会館でキッズコンサートを開催。学校アウトリーチでの経験をホールコンサートに活かし、工夫を凝らしたプログラムで子どもたちを魅了した。また、新たな試みとして静岡市内の子ども食堂でのコンサートを実施。その他、アーティスト紹介制度を通し、県内ホール・地域交流センター計3か所5公演が実施された。今後もアーティストの活躍の場が広がり、地域住民が身近に音楽を楽しむ機会が創出されるよう継続的に取り組んでいく。



藤枝市民会館でのキッズコンサートの様子

2025年度活動実績

日程	公演名	会場	出演者
6月～1月	グランシップ子どもアート体験! 学校プログラム グランシップ登録アーティスト ミニコンサート	県内小学校・特別支援学校12校	フィオリーネ、Flautie、 フルートアンサンブルBouquet
5/3(土・祝) ～5(月・祝)	グランシップこどものくに ミニコンサート	グランシップ 大ホール・海	ミナトニカ、フィオリーネ、 フルートアンサンブルBouquet
9/30(火)	グランシップ ロビーコンサート	グランシップ 大ホール・海 入口	Flautie
10/20(月)、 2/16(月)	グランシップ登録アーティスト 子ども食堂コンサート	長田北スマイル子ども食堂(手越公民館)	フルートアンサンブルBouquet
12/7(日)	藤枝・図書館友の会が贈る 絵本と歌のクリスマスコンサート	藤枝駅南図書館 集会室	Flautie (青島由佳、神戸善子)
2/28(土)	第2期グランシップ登録アーティスト Presents キッズコンサート 音のおもちゃ箱 in 藤枝	藤枝市民会館	フィオリーネ、Flautie、 フルートアンサンブルBouquet

2025年度紹介実績

日程	公演名	会場	出演者
8/23(土)	夏休みチビッコ音楽会	焼津市大村地域交流センター	栗ポーンカルテット
10/4(土)	家族で楽しむ! わくわくファミリーコンサート	掛川市美感ホール	ALBOSTリオ
11/15(土)	名曲アラカルト～ヴァイオリンとピアノの午後～	掛川市美感ホール	村上夢子(共演:畑中順子)
11/22(土)	L'amen コンサート	焼津市大村地域交流センター	L'amen
3/26(木)	スマイルセミナー 記念コンサート	焼津市焼津地域交流センター	Flautie(青島由佳、神戸善子)

●令和7年度 静岡県公立文化施設職員向け 人材養成事業 スキルアップセミナー

県内の公立文化施設職員や市町の文化行政職員を対象に、2010年度から継続して実施している人材養成事業。2024年度に大幅にリニューアルしたプログラムをさらに改善・充実させるとともに、2年間で1サイクルとするカリキュラムのもと、経験年数などに応じた「初級編」「中級編」を実施した。講義や情報共有、意見交換を通じて知識や実践力の向上を図るとともに、参加者同士のネットワーク形成を促進し、県内文化事業のさらなる活性化につながる人材育成を推進した。



日程	講座	講師
6/3(火) [共通回]	公立ホールでの合理的配慮 ※ 静岡県公立文化施設協議会 自主事業研究会 と 共同開催	飯野由里子 (東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター 特任教授)
7/3(木) 初級編①	前半: 実務担当者も、行政職員も / 各担当者に知っておいてほしい保守点検・委託業務 後半: 貸館も、事業も / 各担当者に知っておいてほしい舞台技術	浅野芳夫 (愛知県芸術劇場 常務理事 / 支配人兼劇場運営部長)
8/22(金) 中級編①	ホールに足を運んでもらうための普及啓発事業	河合弘倫 (静岡県文化財団 文化事業課 教育・交流グループマネージャー)
9/12(金) 初級編②	事業の企画とその広報を実践!	品川佳代 (にしん文化会館茶々っとホール / 西尾市文化会館 副館長・芸術監督)
9/26(金) 中級編②	全方位リスクマネジメント	米本一成 (かすがい市民文化財団 次長 / 春日井市文芸館・市民会館 館長) 林健次郎 (宮城県文化振興財団 新県民会館開館準備室 室長)

セミナーアドバイザー: 林健次郎 (宮城県文化振興財団 新県民会館開館準備室 室長)

※講師等の所属は講座実施時のもの

2025年度 主催事業(企画事業) 計47事業 入場者数93,720人(人材育成事業を除く)

戦略 目標	事業 形態	日 程	催 事 名	出 演 者 ・ 内 容 等	会場 財団・静岡県以外の主催・共催等
子ども、 子育て	鑑賞	8/1(金)～3(日) 8/11(月・祝)	グランシップ世界のこども劇場	出演・演目:ティーツリー(ベルギー)「ちいさな、たね」(Semilla) あまる&ひっさい、暁あんこ、ジャグラー賢太郎(日本)「大道芸わんだーらんど」 林家つる子、林家八楽(日本)「にっぽんこども劇場～寄席わんだーらんど～」	交流ホール他
子ども、 子育て	鑑賞	7/27(日)	【共催】 神奈川フィル オーケストラ・キャラバン静岡公演	指揮:太田弦、管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ヴァイオリン:毛利文香、サクソフォン:上野耕平、司会・ナレーター:竹平晃子 曲目:ラヴェル/ツィガース、ミヨー/スカラムーシュ 他	中ホール・大地 主催:(公財)日本オーケストラ連盟 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団
子ども、 子育て	教育 普及	6/23(月)	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室(2公演)	出演:中村扇雀、中村錦之助 他 演目:解説「歌舞伎のみかた」、【土屋主税】	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	11/27(木)	中高生のためのオーケストラ(2公演)	指揮:松川智哉、管弦楽:富士山静岡交響楽団 曲目:チャイコフスキー/交響曲第4番 ヘ短調 Op.36 他	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	6月～1月	グランシップ子どもアート体験! 登録アーティスト ミニコンサート(12校)	第2期グランシップ登録アーティスト3組による、ミニコンサート ※詳細はP4-5に掲載	県内小学校、特別支援学校 12校
子ども、 子育て	教育 普及	5/28(水) 5/29(木)	グランシップ子どもアート体験! 人形浄瑠璃文楽 出前講座(2校)	講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」	掛川市立第一小学校 静岡市立清水小島中学校
子ども、 子育て	教育 普及	11/4(火) 11/28(金)	グランシップ子どもアート体験! 六代目宝井馬琴監修 講談教室(2校)	講師:宝井琴星、宝井琴鶴 実演:「村越茂助 左七文字の由来」、「塚原ト伝と宮本武蔵 鍋蓋試合」	袋井市立袋井南小学校 沼津市立第五小学校
子ども、 子育て	教育 普及	10/10(金) 1/22(木)	グランシップ子どもアート体験! 玉川奈々福の浪曲教室(2校)	講師:玉川奈々福、沢村まみ 実演:「浪曲シンデレラ」	伊東市立富戸小学校 御殿場市立高根小学校
子ども、 子育て	教育 普及	12/5(金)	グランシップ子どもアート体験! 狂言ワークショップ(1校)	講師:三宅右矩、三宅近成、金田弘明 実演:「棒縛」	磐田市立福田小学校
子ども、 子育て	教育 普及	5/28(水)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 文楽レクチャー	講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	10/9(木)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 浪曲レクチャー	講師:玉川奈々福、沢村まみ 実演:「理と鶴と甚五郎」	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	11/4(火)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 講談レクチャー	講師:宝井琴鶴 実演:「那須与一 扇の的(ダイジェスト)」、「あんばんを食べた次郎長」	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	6/12(木)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 歌舞伎レクチャー	講師:国立劇場制作部歌舞伎制作課 職員	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	5/13(火) 5/26(月) 6/12(木)	伝統芸能普及プログラム<教育普及> 歌舞伎レクチャー(3校)	講師:国立劇場制作部歌舞伎制作課 職員	富士宮市立柚野中学校 浜松市立江南中学校 静岡市立両河内小中学校
子ども、 子育て	教育 普及	12/2(火)	伝統芸能普及プログラム<静岡大学連携> 「能楽から見る日本の自然観」	3月に開催する「静岡能」に関連し、 ひな祭りを題材に能楽を紹介する講演・解説及び実演。 講師:大倉源次郎	静岡大学
子ども、 子育て	教育 普及	10/11(土)	創作ワークショップ みんなで連詩を作ろう!	県内高校文芸部を対象にした「しずおか連詩の会」に連動した 詩人と交流するワークショップ。 講師:カニエ・ナハ	浜松学芸中学校・高等学校
子ども、 子育て	教育 普及	7/11(金)	グランシップ子どもアート体験! 貼り絵ワークショップ	生徒一人ひとりの表現・魅力を引き出す貼り絵のワークショップ。 講師:福井揚	静岡大学教育学部附属 特別支援学校
子ども、 子育て	教育 普及	9/21(日)	村田陽一 吹奏楽部演奏指導	静岡市出身のトロンボーン奏者・村田陽一による 吹奏楽部を対象にした演奏指導。	静岡県立静岡東高等学校
子ども、 子育て	県民 参加	5/3(土・祝)～ 5(月・祝)	グランシップスプリングフェスティバル こどものくに ～みんなでプラモデルの世界をつくろう～ あおぞらマルシェ	未就学児を中心に造形体験やあそびを通じて、ゴールデンウィークに家族で 楽しむ機会の提供。静岡が世界に誇る「プラモデル」をテーマに遊び空間を 創出。「あおぞらマルシェ」も同時開催。	展示ギャラリー、交流ホール、 3階ロビー 他
子ども、 子育て	県民 参加	11/23(日・祝)	グランシップ冬のおくりもの2025 こどもたちのための 静フィルクリスマスコンサート	指揮:松村詩史、管弦楽:静岡フィルハーモニー管弦楽団 ソプラノ:Emi、バレエ:前田バレエ学苑 他 曲目:身近な動物の謝肉祭、クリスマスソングメドレー 他	大ホール・海
子ども、 子育て	県民 参加	11/9(日)～ 12/25(木)	グランシップ冬のおくりもの2025 クリスマスツリー展示	静岡大学教育学部との協働で実施する、静岡の伝統工芸品「お茶染め」を 使ったオーナメントによるオリジナルツリーの制作と展示。	グランシップエントランス
子ども、 子育て	県民 参加	予選6/21(土)、 22(日) 本選8/17(日)	【共催】 2025年第44回静岡県学生音楽コンクール	静岡県内小学生～高校生が参加する県内で最も権威と歴史がある コンクール。ピアノ・弦楽管楽・声楽の各部門で開催。	中ホール・大地 主催:NPO法人 静岡県音楽コンクール委員会
音楽 文化 等	鑑賞	6/7(土)	假屋崎省吾×横山幸雄 ピアノと花の華麗なる世界	花いナトーク・ピアノ:假屋崎省吾 ピアノ:横山幸雄 曲目:ショパン/ポロネーズ第6番 変イ長調「英雄」Op.53、 ロウ/踊りあかそう 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	6/27(金)	第12回浜松国際ピアノコンクール第2位 ヨナス・アウミラー ピアノ・リサイタル	ピアノ:ヨナス・アウミラー 曲目:ブラームス/6つのピアノ小品 Op.118、 ショパン/即興曲 第2番 嬰へ長調 Op.36 他	中ホール・大地

戦略 目標	事業 形態	日 程	催 事 名	出 演 者 ・ 内 容 等	会場 財団・静岡県以外の主催・共催等
音楽 文化 等	鑑賞	7/4(金)	フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル	ピアノ:フランチェスコ・トリスターノ 曲目:J.S.バッハ/トッカータ第1番 嬰へ短調 BWV910、 トリスターノ/イン・ザ・ビギニング・ワズ 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	8/29(金)	矢野顕子トリオ featuring ウィル・リー&クリス・パーカー	ピアノ・ヴォーカル:矢野顕子、ベース:ウィル・リー、 ドラムス:クリス・パーカー 曲目:David、相合傘、東風 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	9/15(月・祝)	鈴木雅明指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン J.S.バッハ:管弦楽組曲(全曲)	指揮:鈴木雅明、管弦楽:バッハ・コレギウム・ジャパン 曲目:J.S.バッハ/管弦楽組曲第1番～第4番	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	10/18(土)	春風亭小朝と大谷康子の「世界名曲めぐり」	出演:春風亭小朝(落語家)、大谷康子(ヴァイオリン)、佐藤卓史(ピアノ) 曲目:クライスラー/愛の喜び、サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	11/9(日)	グランシップしずおか連詩の会2025	本県出身の詩人・大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表。 出演:野村喜和夫、川口晴美、星野智之、環ROY、水沢なお 作品名:「野の地図の透明な縁」	会議ホール・風
音楽 文化 等	鑑賞	11/15(土)	村田陽一 ビッグバンド	リーダー:トロンボーン:村田陽一、アルトサクソ:鈴木圭、 トランペット:西村浩二、ピアノ:松本圭司 他 曲目:JANEIRO、Bad Attitude 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	11/16(日)	篠崎*まる*史紀&N響メンバーが贈る ～ウィーン音楽とその魅力～	ヴァイオリン:篠崎史紀、倉富亮太、ヴィオラ:村松龍、チェロ:市寛也 他 曲目:J.シュトラウスⅡ世/ワルツ「美しく青きドナウ」 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	12/11(木)	ヤメン・サーディ ヴァイオリン・リサイタル	ヴァイオリン:ヤメン・サーディ ピアノ:ジュリアン・カンタン 曲目:フランク/ヴァイオリン・ソナタ Ⅰ長調、 グリーグ/ヴァイオリン・ソナタ第3番 ハ短調 Op.45 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	1/9(金)	静岡ガスグループPresents グランシップ&静響ニューイヤークンサート (2公演)	指揮:高間健、管弦楽:富士山静岡交響楽団、ヴァイオリン:木嶋真優 曲目:青山政憲/ガスギャロップ、 ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 Op.26 他	中ホール・大地 主催:(公財)富士山静岡交響楽団
音楽 文化 等	鑑賞	2/7(土)	森山良子コンサートツアー2026 ～Life is Beautiful～	出演:森山良子 他 曲目:この広い野原いっぱい、さとうきび畑 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	2/11(水・祝)	チェロカルテット 横坂源ノ上野通明ノ水野優也ノ伊東裕	チェロ:横坂源、上野通明、水野優也、伊東裕 曲目:シベリウス/アンダンテ・フェスティヴォ、 バルトーク/ルーマニア民謡舞曲、坂本龍一/energy flow 他	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	2/23(月・祝)	静岡JAM2026 ～WONKノソエジマトシキ～	出演:ソエジマトシキ(ギター)、Nahokimama(トランペット・ギター・キーボード)、 Yoshitaka Utano(キーボード)、Yoshua Yoshida(ベース)、Ryo Kanda(ドラムス)、 WONK/長塚健斗(ヴォーカル)、江崎文武(キーボード)、井上幹(ベース)、荒田流(ドラムス)	中ホール・大地
音楽 文化 等	鑑賞	3/21(土)	辻井伸行×三浦文彰 究極の協奏曲コンサート	指揮:沼尻竜典 管弦楽:読売日本交響楽団 ピアノ:辻井伸行、ヴァイオリン:三浦文彰 曲目:チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲、ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番	大ホール・海
音楽 文化 等	鑑賞	11/3(月・祝)	【出前公演】 スティヴ・ガッド in BHGプロジェクト	ドラムス:スティヴ・ガッド、サクソ:ミカエル・ブリチャー、 ハモンドオルガン:ダン・ヘマー 曲目:Mount Fuji、Snow、Any moment now、They had no roses 他	沼津市民文化センター 小ホール 主催:(公財)静岡県文化財団、 (公財)沼津市振興公社、静岡県
音楽 文化 等	教育 普及	8/30(土)	鈴木雅明が語るJ.S.バッハ「管弦楽組曲」	バッハ・コレギウム・ジャパン公演の事前レクチャー。 作品の魅力とその背景をチェンバロの演奏とトークで紹介。 講師:鈴木雅明	1001会議室
音楽 文化 等	県民 参加	8/10(日)	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2025	静岡県内で活動するアマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル。 出演:湖東ビッグバンドクラブ、Red Spicy Big Band、 ジャズ・リバース・オーケストラ、SPIRAL STEPS 他 全11団体	大ホール・海
音楽 文化 等	県民 参加	9/20(土)～ 10/5(日)	グランシップ 誰もがWonderfulアート	表現や個性を認め合うことを目的とした作品展。世界的な評価を集める 彫刻家・掛井五郎の作品と、静岡県内特別支援学校の生徒・児童による 作品を展示。	展示ギャラリー
集いと 創造	県民 参加	5/17(土)、 18(日)	グランシップ トレインフェスタ2025	全国から集まった30を超える鉄道クラブによる鉄道模型コーナーや 駅弁販売、鉄道にまつわるトークショー等、家族で楽しめる日本最大級の 鉄道イベント。	全館
集いと 創造	県民 参加	2/15(日)	【共催】ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式」「総合開会式」	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典 2025授賞式、2026総合開会式。	中ホール・大地
伝統 芸能	鑑賞	11/8(土)	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	出演:豊竹若太夫、竹本鑑太夫、桐竹勤十郎 他 演目:昼の部/「義経千本桜」～道行初音旅、「新版歌文」～野崎村の段 夕の部/「曾根崎心中」～生玉社前の段～天満屋の段～天神森の段	中ホール・大地 主催:(公財)静岡県文化財団、 静岡県、(公財)文楽協会
伝統 芸能	鑑賞	2/14(土)	グランシップ寄席 ～春風亭一朝・一之輔・梅朝～	出演・演目:春風亭一朝「三方一両損」、春風亭一之輔「加賀の千代」、 春風亭梅朝「不動坊」、春風亭一呂久「道灌」	会議ホール・風
伝統 芸能	鑑賞	3/14(土)	グランシップ静岡能 ～雛の宴～	出演:宝生和英、大倉源次郎、三宅右矩 他 演目:舞囃子/高砂、狂言/節分、能/西玉母	中ホール・大地
伝統 芸能	教育 普及	9/13(土)	グランシップ静岡能 能楽入門公演	出演:山階彌右衛門、観世流能楽師、能楽お稽古生27名 他 演目:仕舞/小袖曽我、羽衣、阿漕 半能/熊坂 他	中ホール・大地
人材育成		2/28(土)	【出前公演】 第2期グランシップ登録アーティスト Presents キッズコンサート 音のおもちゃ箱 in 藤枝	第2期グランシップ登録アーティスト3組による、0歳から参加可能な キッズコンサート。出演:フィオリネ(ソプラノ・メゾソプラノ)、 小林渥三(ピアノ)、Flautie(リコーダー・フルート・電子チェンバロ)、 フルートアンサンブルBouquet(フルート三重奏)	藤枝市民会館 共催:(株)アス、藤枝オリコミ ピーアールグループ

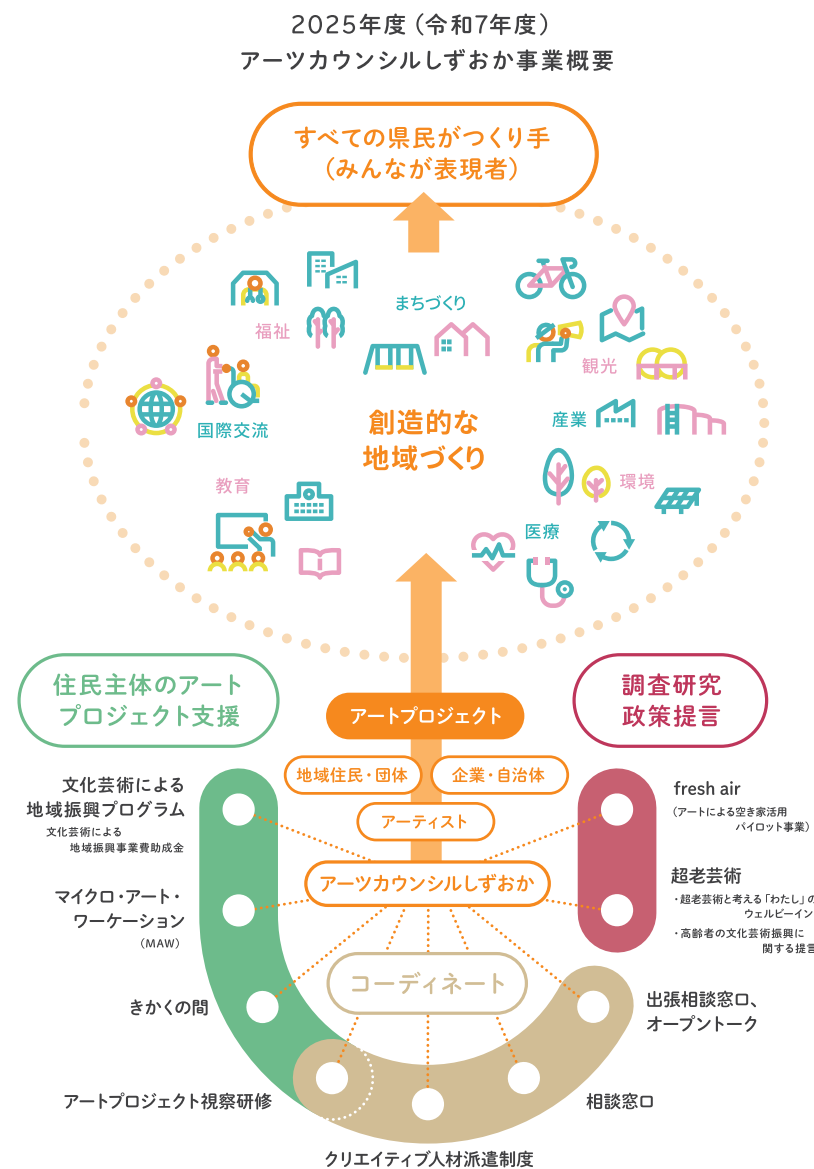
「みんなが表現者」創造的な地域づくりを念頭に

アーツカウンシルしずおかは、文化芸術が人々の創造性を引き出し、まちづくりや観光、福祉、教育、環境、産業など様々な分野の課題解決や資源活用の糸口となり、地域社会が活性化することを目標としている。

県民全てが芸術文化活動の当事者となることを目指し、県民主体のアートプロジェクトの拡充に取り組むとともに、プロジェクト間のネットワーク形成を推進した。

地域の様々な場面におけるイノベーションの創出に寄与することを念頭に、「住民主体のアートプロジェクト」*支援「コーディネート」「調査研究・政策提言」を3つの柱として各事業を展開。県内各地におけるアートプロジェクト同士の交流や連携を促し、プロジェクト間ネットワークの確立を進めた。さらに複数の調査研究を実施し、専門的な知見を活かして、事業成果や調査研究活動の結果を総合的に整理・分析し、政策提言を行った。

*アートプロジェクトとは、地域社会において、人々が共同で社会の様々な事象と関わり展開される文化芸術活動のこと。多様な人々による協働のプロセスを重視し、その成果が地域や社会に還元される研究開発のように、いろいろな分野とアートが連携して取り組むものを指す。



2025年度「文化芸術による地域振興プログラム」実施団体による成果報告会

実施事業

1 文化芸術による地域振興プログラム

地域資源を活用し社会課題の解決を目指す社会の多様な担い手に対し、アートプロジェクトの展開を専門的に支援・調整するプログラム・ディレクター、プログラム・コーディネーター等が企画立案から実施・評価まで伴走し、専門的見地からの助言等を行うことで、アートプロジェクトを通じた創造的な地域づくりを支援した。

制度内容および交付決定

助成金の区分	対象	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
地域クリエイティブ支援	先駆的取組を行うプログラム	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内 又は2分の1以内	45件	18件
地域はじまり支援	先駆的事业の実施に向けて 試行的に取り組むもの	300千円	助成算定経費の 10分の10	19件	10件

2 マイクロ・アート・ワーケーション (MAW)

住民とアーティスト等のクリエイティブ人材が出会うきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加、住民主体のアートプロジェクトの創出などに寄与するとともに、クリエイティブ人材の創作活動に活かしてもらうことを目的にワーケーションを促進する取組。これまで本事業を実施してきた地域からは、ホスト団体とクリエイティブ人材によるイベントが自主的に開催され、2026年度「文化芸術による地域振興プログラム」への応募が見られるなど、新たなアートプロジェクトの動きが出ている。

区分	受入団体(ホスト)	クリエイティブ人材(旅人)
対象	県内に拠点を置く様々な分野の団体	クリエイティブ人材 (アーティストやクリエイター、ディレクター等)
実施期間	2025/8/1 (金) ~11/10 (月) の間で、原則6泊7日	
実施数	12団体(応募:15団体)	37人/14都府県(応募:170人/26都道府県)

3 アートによる空き家活用パイロット事業「fresh air」

増加する空き家への対応として、2023年度からパイロット事業を立ち上げ、まちづくり団体や行政と連携し、アートによる活用の有効性を検証してきた。2025年度は、これらの成果を踏まえ、アーティスト等の相談増加に対応し、地域団体と連携したマッチングツアーを実施。併せて、これまで蓄積した成果や議論を整理し、活用促進に向けたガイドラインを作成し、報告会で周知を図った。



● 空き家マッチングツアー

実施日	エリア	企画・運営
2026/1/26(月)	御殿場市	継創舎+富士山文化ハウス
2026/1/31(土)	島田市・川根本町	空き家買取専科(静岡ガスグループ(株)Sweets Investment)
2026/2/11(水・祝)	熱海市	NPO法人 atamista
2026/2/13(金)	静岡市(蒲原地区)	合同会社つばめ制作社

4 クリエイティブ人材派遣制度の運用

文化以外の分野とアーティスト等との連携促進と、連携による創造性の触発を目的とし、県内の企業、行政組織等を主とした団体や組織に対してクリエイティブ人材を派遣した。

派遣先	派遣人材	内容
株式会社 スタジオ光栄 (函南町)	田中みゆき(キュレーター) 川口淳一(作業療法士)	2026年4月に開所する介護付き有料老人ホームを地域に開けたものとするための助言、事例紹介と、スタッフ育成のための講義とワークショップを実施
大石内科 循環器科医院 (静岡市)	タン・ルイ (アーティスト)	社会的処方の実践で知られる病院の介護部門に対して、継続した展開と利用者家族や地域とのコミュニケーション促進の可能性を広げるワークショップを実施。

5 超老芸術

高齢になってからも独学でユニークな表現活動続ける人たちが生み出す芸術表現を「超老芸術」と名づけ、発掘紹介をしている。2025年度は超老芸術のつくり手と若者(大学生等)による座談会、作品鑑賞会を実施した。

●「超老芸術と考える『わたし』のウェルビーイング」

【開催】11/22(土) 【会場】グランシップ 交流ホール
【登壇者(超老芸術のつくり手)】
岩崎 祐司(1946年生まれ 静岡県焼津市) ※作品鑑賞会講師
近藤 正勝(1945年生まれ 静岡県静岡市)
城田 貞夫(1940年生まれ 広島県福山市)
【対談相手(ゲスト)】
酒井田 のど香(東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部3年生)
大林 和(常葉大学造形学部1年生)
二宮 幹(HAHAHANO.LABO)
【参加者数】106人(うち学生45人)



6 きかくの間(はざま)

アートプロジェクトの企画運営と住民プロデューサー育成を目的に、実践型講座「きかくの間(はざま)」を全3回開催した。参加者が自身の想いを言語化し、対話を重ねながら企画を磨く過程を通じ、空き家活用や商店街連携など多様な企画案が深まるとともに頼り合える仲間意識が醸成され、助成事業への応募につながる動きも複数生まれた。講座終了後には、講師による自主的なオンライン個別相談会や、スピノフ企画が生まれるなど、地域での実践を支える継続的なコミュニティ形成の契機となった。

●アートプロジェクトのつくり方「きかくの間(はざま)」

【開催日】①6/28(土) ②9/23(火・祝) ③12/14(日)
【講師】古谷 晃一郎(アートコーディネーター)
【ゲスト住民プロデューサー】
菊地 悠子(NPO法人レザミ・デ・ザール理事長)
【参加者数】延べ25人



●「きかくの間」スピノフ企画「ただいま工事中」

【開催日】2026/3/1(日)
【企画監修】古谷 晃一郎(アートコーディネーター)
【参加者数】111人
【内容】受講生が試行錯誤を重ねてきたプロジェクトの途中経過を「小さな実験」として公開。



7 「TECH BEAT Shizuoka2025」への出展

静岡県内の事業者と首都圏をはじめとするスタートアップ企業との出会いを創出する「TECH BEAT Shizuoka」にて、トークセッションに登壇、およびブース出展を通じて、アートとビジネスの接点やアートプロジェクトの意義に関する理解促進を図った。一次産業やスタートアップの関係者との対話により異分野連携の可能性を提示するとともに、来場者1万人超に対する発信を通じて認知向上とネットワーク形成に寄与した。

8 先進事例視察「アートプロジェクト視察研修」

まちづくりや観光、文化などを担当する市町職員や関係団体職員を対象に、アートプロジェクトへの理解を深め、今後の活動に活かすことを目的として、先進事例の視察研修を実施した。分野横断的な連携の重要性の認識が高まり、新たな協働の動きも生まれるなど、関係者相互の連携の広がりにつながった。

第3回視察研修 11/10(月)
用宗アートプロジェクト(静岡市) 参加者19人

第4回視察研修 2026/2/13(金)
三島満願芸術祭 2026(三島市) 参加者22人

9 相談窓口の運営

専門スタッフが随時相談に応じたほか、相談内容に応じて、弁護士や税理士、中小企業診断士により、組織経営、経理、法律面でも、文化・芸術活動をサポートする相談窓口を運営した。文化芸術分野をはじめ幅広い見識をもつ特別相談員による相談会も毎月開催した。また、県内3か所出張相談窓口を実施し、うち2か所では「地域との関わり方を知りたい」「アーティスト同士がつながる機会がほしい」といった声を踏まえ、アーティスト等を対象としたオープントークを開催した。



【2025年度相談件数:122件】

ArtS×浜松アーツ&クリエイション オープントーク
2025/9/20(土) 会場:はままちぶらす(浜松市)

10 調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言

地域の文化資源、文化活動等の情報を調査・収集し、「高齢者の文化振興に関する提言」や「アーティスト等の活動環境調査結果の報告会」などを実施し、文化政策および隣接政策へも提言をした。これらは報道等を通じて広く共有され、文化芸術が福祉等他分野と連携し社会課題解決に資する可能性の理解促進に寄与した。また、県総合計画審議会や県文化政策審議会に委員として参画、県市町の各種審査会委員など県や市町等からの依頼に基づく助言や支援、政策提言等を行った。

●高齢者の文化芸術振興に関する提言

2024年度に実施した高齢者の表現活動に関する実態調査および県内3か所の高齢者施設でのモデルプログラム(対話型鑑賞、絵画創作ワークショップ)の結果を踏まえ、高齢者の健康寿命延伸に資する文化芸術の在り方を提言としてまとめた。提言の公表にあたっては記者会見を実施し、創作活動が生きがいや社会との接点を生み出す意義を発信した。内容は主要メディアにも取り上げられ、文化芸術と福祉の連携の重要性に対する社会的関心を喚起した。

●アーティスト等の活動環境調査結果報告会

2024年度に実施した「静岡県内のアーティスト等の活動環境およびコミュニティに関するアンケート」の分析結果について、調査に協力いただいた団体に報告・共有するとともに、アーティスト支援の在り方や協働の可能性について意見交換する機会を設けた。これにより、静岡県におけるアートやアーティストを支えるためのネットワークの基盤が生まれたことから、今後はさらなる連携の仕組み・体制を整えていく。

2025年度事業の詳しい実施状況は
【アーツカウンシルしずおかアニュアルレポート2025】を参照



グランシップの施設利用

静岡県の学術、文化及び芸術の振興並びに国内外との交流を図るため、様々な催事開催の場を整え、その振興に寄与した。「推し活」の分野においても県民及び国内外の交流の場となるよう、広くその機会を創出した。

●産業・学術の振興、全国大会の誘致

「紙パルプ技術協会年次大会」や「日本公衆衛生学会総会」をはじめとする全国規模の大会や学会を誘致し、コンベンションセンターとして産業・経済・学術等の振興及び交流人口の増加に寄与した。

●第68回紙パルプ技術協会年次大会

主催:紙パルプ技術協会 10/8(水)～9(木) 大ホール・海 他全館 902人

第68回紙パルプ技術協会年次大会がグランシップ全館で開催された。「資源を活かし、未来に紡ぐー循環型社会とともに進化する紙パルプ産業」をテーマに、特別セッションを含む講演会、展示会などを実施。展示会は2日間にわたり開催され、会場では授賞式、各種講演も行われた。参加者902人、展示出展66団体、一般講演76件に上り、企業・学生交流会など新たな取組も含め、全国からの来館を促進し、産業振興に寄与した。



●第84回日本公衆衛生学会総会

主催:浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学 10/28(火)～31(金) 大ホール・海 他全館 5,500人



人々の健康を社会全体で守る活動である「公衆衛生」に取り組むため、第84回日本公衆衛生学会総会がグランシップ全館で開催された。「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」をテーマに、全国及び世界各地から研究者と現場の従事者が集まり、研究や実践活動の報告などを行った。行政と研究者が一体になって運営する学会であることから、鈴木康友静岡県知事が名誉学会長、難波喬司静岡市長が名誉顧問を務めた。学会員によるコーラスやピアノ演奏などの企画も行われ、学術及び文化における国内外の交流の場を創出した。

●ホールの新たな利用方法

様々な形式で利用できる大ホールやグランシップ広場を活用し、文化やスポーツ、県内企業の活性化等、幅広いジャンルのイベントを受け入れ、利用者のニーズに寄り添った新たな活用方法を提示した。

●第14回 高等学校応援団フェスティバル

主催:高等学校応援団フェスティバル静岡実行委員会
6/21(土)～22(日)*6/22(日)のみグランシップ開催
大ホール・海 1,550人

母校のために日頃からひたむきに練習する高校応援団に、発表の場を提供することを目的として、「高等学校応援団フェスティバル」を大ホールで開催。参加校の伝統や地域特性を反映した応援演技や、華やかなチアリーダーと一体となった演技が披露された。香川県、富山県、東京都、山梨県をはじめ、全国各地から14校が参加し、各校の応援団のファンも静岡を訪れた。2012年に「第1回静岡県高等学校応援団フェスティバル」がグランシップで開催されて以来、高校応援団を応援する静岡の観客の熱量も上がり、継続的な開催と規模拡大に寄与している。今後、全国プレ大会、全国大会に繋がる実績を積み上げることで、さらなる盛り上がり期待されている。



●駿河男児BOXING GYM 「BOXING EVENT Desafio12」

主催:美穂プロモーション株式会社 9/7(日)
大ホール・海、グランシップ広場 他 2,210人

プロボクシングと地域文化が融合した地域貢献イベントとして「Desafio ふじのくに祭り」を大ホールを中心に開催。日本のみならず、アジアや世界で活躍する選手やチャンピオンを輩出するボクシングジムが中心となり、実際の試合に加え、和太鼓の演奏、ダンスなど子どもたちも参加できるステージや体験ブースも開催。スポーツと文化を生かし、静岡の青少年育成や地域活性化のために多くの人々が集い、交流する機会となった。



●合同企業文化祭 Career Vision Fes in Shizuoka

主催:村田ボーリング技研株式会社 2026/3/6(金)
グランシップ広場 294人



学生と企業が出会い、働くことや将来について考える「合同企業文化祭 Career Vision Fes in Shizuoka」が、屋外のグランシップ広場で開催された。「就活しなきゃ」ではなく「就活したい」をテーマに、県内企業・団体39社が参加。従来の合同企業説明会とは異なり、企業のビジョンやカルチャーを体験型ブースで表現し、学生が自由に会場を巡りながら、企業や働く人と気軽に交流できる野外フェス形式で実施。企業ブースのほか、学生と人事担当者によるトークセッションや飲食・交流スペースなども設けられ、就職活動の枠を超えて、地域の企業や働くことの魅力に触れる機会が創出された。

●「推し活」・「趣味活」の会場

グランシップの大小様々な施設を活用し、多彩なジャンルの「推し活」・「趣味活」の場として、これまでにない施設利用の可能性を広げ、県内をはじめ国内外から訪れる人々の交流促進に寄与した。

●こす☆おふ

主催:こす☆おふ 7/13(日)
展示ギャラリー、交流ホール、グランシップ広場 280人

アニメやゲームのキャラクターに扮し、国内外で年々人気となっているコスプレイヤーたちが集うコスプレイベント「こす☆おふ」がグランシップで初めて開催された。館内やグランシップ広場での撮影会に加えて、コスプレイヤー同士の交流も創出する機会となった。グランシップの多様な施設を活用して、幅広いジャンルの「推し活」や「趣味活」の場として、国際交流や人的交流を創出。趣味や推し活をきっかけに静岡を訪れ、地域の魅力を改めて発信するきっかけとなった。



●地理フェス！2026

主催:0223フェスティバル実行委員会 2026/2/23(月・祝)
交流ホール 200人



地理や地誌に関心のある県内を中心とした個人のクリエイターやそのファンが集まり、交流会やファンミーティングの催しを初開催。地理系YouTuberのおもしろ地理氏とアマノ氏の対談に加え、廃道や謎のトンネルなど、日本全国にある「道」に特化したバラエティー番組「道との遭遇」(CBCテレビ)の演出・飯田亮太氏を招いた講演会も実施。個人の趣味を通じて、様々な人が実際に交流する場を創出した。

●防災意識の啓発

家族で楽しみながら防災について学ぶことができるイベントを通じて、子どもから大人まで幅広い県民の防災意識を高める機会を創出した。

●JA共済Presentsちびっこ防災アドベンチャー2025

主催:静岡朝日テレビ 8/30(土) 大ホール・海、グランシップ広場 約2,000人

親子で「楽しく防災を学ぶ」をテーマにした体験型イベント「JA共済Presentsちびっこ防災アドベンチャー2025」を初開催。県内テレビ局をはじめ静岡県地震防災センターや自衛隊、官民連携で実施。「防災ヒーローになろう」をコンセプトに、子どもたちの興味を引きながら防災の大切さを伝えるイベントとなった。キャラクターショーや地震ザブトン、防災カルタ、防災すごろく、煙の中を進む体験、起震車、災害車両見学のほか、実際の災害を想定した防災体験コンテンツを多数展開。子どもたちが自ら学び、家族と一緒に防災を考える機会を創出し、地域社会における防災教育の新たなモデルケースの場となった。



●2025年度入館者数…752,828人

●主要施設の稼働実績 全体の稼働率は76.6%。

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績	164日	285日	252日	231日	263日	1,195日
利用可能日数	191日	320日	318日	321日	325日	1,475日
稼働率 稼働実績／利用可能日数	85.9%	89.1%	79.2%	72.0%	80.9%	81.0%

●利用者アンケート結果

回答数	3,704件／5,135件(回答率72.1%)
アンケートで“よい”と回答	88.0%
お客様からの声	●事前のやりとりにも親切に対応してくださりありがとうございました。 ●裏方も丁寧に対応、サポートしていただきありがたかった。スケジュール通り問題なく進んでよかったです。 ●機材確認等、丁寧にご対応いただきありがとうございました。

●催事開催支援サービス グランシップでの催事開催にあたって必要な各種手配をワンストップで支援するサービス。

メニュー	サービスの内容	実績
飲食	弁当、ケータリング、パーティー	受付件数 ……………1,654件 受付額 ……88,298,815円
テクニカル	音響照明、看板、生花、会場設営	
清掃	レイアウト転換、ごみ処理	
警備	雑踏警備・駐車場警備	

●利用者会議

開催日時	2026/3/11(水)
会場	グランシップ1202会議室
参加団体	プロモーター、イベント制作会社等 5社
議題	エンタメ系催事・有料催事の誘致、貸館利用について

●エネルギー使用実績

効率的なエネルギー運用に取り組み、エネルギー総量は2013年※に比べて15.4%減少。

電気	5,366,960kWh
ガス	598,349m ³
エネルギー総量	79,692GJ

※2013年は静岡県地球温暖化対策実行計画の開始基準年

主な貸館事業一覧

開催日	催 事 名	開催日	催 事 名
4/19(土) ～4/20(日)	静岡美酒祭2025	10/23(木) ～10/26(日)	世界お茶まつり2025
5/10(土) ～5/11(日)	鳥フェス静岡2025	10/28(火) ～10/31(金)	第84回日本公衆衛生学会総会
5/10(土) ～5/11(日)	第14回 日本血液学会東海地方会	11/1(土)	静岡県ふじのくに芸術祭 合唱コンクール
5/27(火) ～5/28(水)	第25回静岡県洋菓子作品展	11/2(日)	静岡県高等学校文化連盟 「器楽・管弦楽」専門部 第29回演奏会
5/31(土)	静岡ケモノスクエア9	11/9(日)	「はやく起きた朝は・・・」 ファン感謝デー2025 番組公開収録in静岡
6/7(土)	第26回 内視鏡外科研究会	11/14(金)	新技術交流イベント in Shizuoka 2025
6/13(金) ～6/14(土)	第13回フード・デリ メディケアフーズショー	11/22(土) ～11/24(月・休)	全国ご当地鍋まつりSHIZUOKA2025
6/14(土)	ベリーグッドマン “サンキュー” TOUR 2025	11/29(土) ～12/7(日)	ふじのくに芸術祭2025美術展
6/15(日)	第72回NHK杯全国高等学校放送コンテスト静岡県大会	11/30(日)	第7回 Digital Future Fest ジュニアプロコンin静岡
6/21(土) ～6/22(日)	SHIZUOKA2025 第14回高等学校応援団フェスティバル	12/1(月)	令和7年度第32回静岡県図書館大会・ 全国公共図書館研究集会
7/13(日)	2025ダンススポーツグランプリin静岡	12/2(火) ～12/3(水)	静岡市民劇場12月例会 劇団文化座「母」
7/13(日)	こす☆おふ	12/16(火) ～12/17(水)	第22回お米日本ーコンテストinしずおか
7/24(木) ～7/26(土)	TECH BEAT Shizuoka 2025	12/18(木) ～12/22(月)	第34回愛護ギャラリー展
8/6(水) ～8/7(木)	第42回東海地区学校図書館研究大会 令和7年度静岡県教育研究会学校図書研究部夏季研究大会	12/27(土)	ヨシダナギの知られざる世界
8/16(土)	Beauty Japan FUJIYAMA/NEO2025	2026年 1/10(土)	第14回静岡県看護学会
8/16(土)	SHIZUOKA ブレイキン選手権 vol.3	1/17(土)	国消国産を考えるシンポジウム ～コウケンテツと考える食と農～
8/22(金)	第10回東海地区高校生介護技術コンテスト	1/23(金) ～1/25(日)	静岡県特別支援学校高等部・第36回合同作品展
8/24(日)	2025 中部日本ダンス競技静岡県大会	1/23(金)	第65回静岡県保育研究大会
8/29(金) ～8/31(日)	静岡県書道連盟公募展	2/1(日)	能登半島災害チャリティ公演
8/30(土)	JA共済 Presentsちびっこ防災アドベンチャー2025	2/13(金)	令和8年静岡県柑橘生産者大会
9/3(水) ～9/5(金)	第39回日本放線菌学会静岡大会	2/14(土)	お茶博士in静岡市2026
9/6(土) ～9/7(日)	駿河男児BOXING GYM[BOXING EVENT Desafio12]	2/22(日)	ふじのくに芸術祭 春の祭典
9/13(土)	リトル・ママフェスタ 静岡 2025 Sep ～マタニティ&ファミリー～	2/23(月・祝)	地理フェス!2026 道なき道を行け!
9/12(金) ～9/14(日)	静岡県水石連盟展	2/24(火)	細川たかし&長山洋子 ふたりのビッグショー
9/19(金) ～9/20(土)	第39回関東臨床細胞学会学術集会	2/27(金) ～3/1(日)	おいもフェスSHIZUOKA2026
9/21(日)	DDTプロレス静岡大会「お茶の子祭祭」	2/28(土)	2026年3・1ピキニデー日本原水協 全国集会
9/24(水) ～9/25(木)	第455回例会 文学座「昭和虞美人草」	3/6(金)	合同企業文化祭 Career Vision Fes Shizuoka
9/27(土)	MYSTERY NIGHT TOUR 2025 稲川淳二の怪談ナイト	3/15(日)	75周年記念 渡辺貞夫グループ2026 ～カルフォルニアシャワー～
10/4(土)	第13回赤十字救急法競技会	3/20(金・祝) ～3/22(日)	第44回全国橘花書道展 展示・表彰式
10/8(水) ～10/9(木)	第68回 2025年紙パルプ技術協会 年次大会	3/27(金) ～3/29(日)	全日本ぎょうざ祭りin静岡
10/11(土) ～10/13(月・祝) 11/5(水) ～11/9(日)	第73回静岡県高等学校美術・工芸展 中部展	3/31(火)	静岡県神社庁 設立80周年記念 第73回 静岡県神社関係者大会
10/12(日)	SHIZUOKA ダンスコレクション in 2025		

その他の取組

公益財団法人静岡県文化財団は、多岐にわたる事業や取組を通じて、県民文化の振興を図っている。ここでは、これまでに取り上げていないものに関して紹介する。

1. グランシップサポーター

開館以来、館運営のパートナーとして歩みをともにしてきた「グランシップサポーター」には、10代から80代までの幅広い世代が参加した。それぞれの得意分野を活かした活動により、職員とともに円滑な事業運営を支え、来館者サービスの向上を実現した。

(2026年4月1日現在)

部 門	内 容	登 録 者 数
広報	ダイレクトメール発送、企画事業準備作業等	39人
レセプションист	公演実施日のチケットもぎり、場内案内、クロークでの荷物お預り等	37人
撮影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の展示企画等	25人
ちょこっとサポーター	イベントでの見守り、展示会での監視等	17人
計		118人

2. インターンシップ

財団運営や企画事業制作、貸館営業促進、アーツカウンシル事業など、静岡県文化財団が担う業務を幅広く知る研修を、7～9月にかけて実施。参加者が自身の興味やスケジュールに応じて選択できるよう、必修講座と希望制講座を織り交ぜた、最短6日、最長12日の研修を設けた。県内外の大学生を中心に18人が参加し、座学から実地研修まで様々な経験を通し、将来への選択肢を広げるきっかけとなった。また、11月に文化事業課、1月に総務課・利用サービス課、2月にアーツカウンシル課のオープン・カンパニーを実施し、延べ15人が参加した。



主な実習の内容

総務課	財団の成り立ちと運営、総務課業務について
文化事業課	企画制作／広報研修、企画実務研修
利用サービス課	貸館運営と予約受付業務研修、現場視察
アーツカウンシル課	アートプロジェクトと地域振興研修 事業視察、運営補助業務研修



3. 職業体験

静岡県立静岡北特別支援学校と静岡市立東中学校の職業体験を実施した。総務課業務、企画制作・広報業務、舞台設営、照明・音響操作、警備業務等の体験を通して、実務の知識を得るだけでなく、働くことの意義を理解し、自身の進路や職業選択に対する考えを深めるきっかけを提供した。

4. ふじのくに地域づくり創造賞

2023年度に新設した『ふじのくに地域づくり創造賞』を引き続き実施し、社会課題への対応や地域資源を活かした創造的な活動を通して「新しい価値を暮らしの中に」創造していくことが期待される活動の担い手に対して、その功績を表彰した。

● 2025年度受賞者

団体・個人部門

山森達也
(三島市)



京都府出身。2019年に三島市へ移住し、株式会社シタテを設立。ゲストハウスや家具付き住居の運営を通じ、関係人口の創出や空き家活用事業を展開。三島市移住アンバサダーとしても活動しながら移住者の支援を行うとともに、現在は三島アートプロジェクト実行委員会の代表として「三島満願芸術祭」を主催。近年は中学校や三嶋大社との協業を実現するなど、地域を巻き込んだ活動の輪を広げている。芸術祭を起点とした取り組みにより、空き家問題の解消や地域コミュニティの活性化という課題に対し、早期から具体的な成果を上げている。

企業部門

合同会社つばめ制作社
(静岡市清水区蒲原)



2024年に設立した合同会社つばめ制作社(屋号:つくらない制作編集社)は、コミュニティデザインや地域コーディネートなどを手がける。代表家族が2017年静岡市清水区蒲原に移住後、蒲原地区の古民家を次々と活用整備し、「駄菓子ツパメ」や「BACKPACKERS HOSTEL燕之宿」などを運営している。少子高齢化が進む蒲原において、旅行客を呼び込むことで地域の魅力向上や住民との交流を促進し、交流人口の拡大や移住促進に貢献している。蒲原地区の文化財やNPO活動を活かし、古民家をシェアハウスとして整備する計画を進めている。

5. 防災訓練の実施

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員に加えて、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、消防計画を改訂し、自衛消防隊の効果的な再編成と、地区隊を充実させることで、危機管理の体制を強化した。



日程	内容
4/15(火)	安全対策・防災マニュアル説明
6/17(火)	火災想定事前訓練
7/15(火)	火災想定総合防災訓練
8/19(火)	火災想定総合防災訓練振り返り
9/9(火)	救急救命講習(AED、三角巾等)
12/9(火)	個別訓練 (消火器、非常エレベーター等)
2026/1/20(火)	地震想定事前訓練
2/5(木)	地震想定総合防災訓練
3/4(水)	地震想定総合防災訓練振り返り

6. 県委託・補助事業

● 子どもが文化と出会う機会創出事業

静岡県内に活動拠点を置くプロオーケストラ(富士山静岡交響楽団、シンフォニエッタ静岡)による、小学校、中学校、高等学校等への地域訪問プログラムと、未就学児対象コンサートによる音楽プログラム。

① 地域訪問プログラム 開催実績 計16会場

実施日	学校名
6/3(火)	藤枝市立高洲中学校
6/12(木)	長泉町立北小学校
6/13(金)	焼津市立小川中学校
6/27(金)	沼津市立大岡中学校
7/9(水)	静岡県立静岡視覚特別支援学校
9/4(木)	静岡県立富士特別支援学校
9/25(木)	菊川市立河城小学校
10/6(月)	静岡県立吉田特別支援学校
10/7(火)	静岡サレジオ高等学校
10/9(木)	袋井市立袋井南小学校
10/24(金)	函南町立東中学校
10/27(月)	桐陽高等学校

実施日	学校名
10/28(火)	御殿場市立朝日小学校
10/29(水)	下田市立浜崎小学校
11/28(金)	東伊豆町立稲取小学校
12/9(火)	三島市立北中学校 他(7校合同)



② 未就学児プログラム 開催実績 計3会場

実施日	会場
6/21(土)	富士川ふれあいホール
8/9(土)	掛川市生涯学習センター
8/10(日)	長岡総合会館(アクシスカつらぎ)



● F_P polytope / 東部・伊豆地域文化ネットワークモデル形成準備事業(アーツカウンシルしずおか)

静岡県が進める東部・伊豆地域文化ネットワーク形成に向けた事業にコーディネーターとして携わった。県有施設を使ったモデル事業、アーティストの視点による地域リサーチを中心として、行政、民間企業、アーティスト、民間団体などの有機的な連動をつくりながら、事業を実施した。また、文化芸術を軸とした事業の特性を探るために、インスタレーション制作を題材としてレポートをまとめた。

● poly_papier(ポリパピエ)
インスタレーション作品「pulp it!」制作



● poly_play(ポリプレイ) / 県有施設でのモデル事業
「音がつなげるクジラとクラゲ 〜ハイザイアートで音づくり〜」



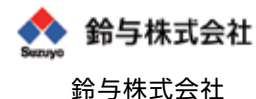
2025年度ご協賛・ご協力いただいた皆様（敬称略）

●グランシップ友の会（2026年4月1日現在）

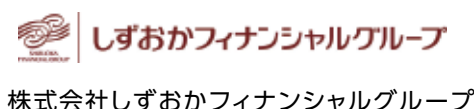
(1)個人会員 21,681人

(2)法人会員 16社

【特別会員】 4社



株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社



株式会社しずおかフィナンシャルグループ

【一般会員】 12社

株式会社ステージ・ループ静岡
株式会社ピーエーシー
静岡エフエム放送株式会社
株式会社望月商事

静岡県ビルメンテナンス協同組合
株式会社テレビ静岡
丸茂電機株式会社
国立大学法人静岡大学

静岡信用金庫
株式会社イノウエテクノカ
株式会社コアズ
株式会社近藤リース

●「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」協賛



株式会社静岡銀行



株式会社アイエイアイ



鈴与株式会社

●特別協賛 「グランシップ&静響ニューイヤーコンサート」



●特別賛助会員 株式会社イノウエテクノカ

●協賛・協力

「グランシップこどものくに」

株式会社アイエイアイ 株式会社青島文化教材社 カネジユウ食品株式会社 静岡県牛乳普及協会
静岡市環境局森林経営管理課 静岡市産業振興課プラモデル振興係 静岡模型教材協同組合
清水食品株式会社 株式会社ステージ・ループ静岡 ダイードドリンコ株式会社 株式会社タミヤ
株式会社テレビ静岡 株式会社ハセガワ 生活協同組合パルシステム静岡
ホテルグランヒルズ静岡(ブリーズベイ静岡株式会社)
MARK IS 静岡(三菱地所プロパティマネジメント株式会社) 生活協同組合ユーコープ

2025年度 公益財団法人静岡県文化財団事業体系図

静岡県文化財団は、文化の力による「心豊かで活力ある社会の持続的な発展」を目指します。

使 命

- 個性豊かな文化芸術が一人ひとりの県民とともにある地域社会を創造する
- 人々が“集う・交流する”ことを促進する

メッセージ

～新しい価値を暮らしの中に～

文 化 芸 術 の 振 興

文化芸術との幸せな出会いの提供による寛容な社会の形成

- ① 未来を担う子どもたちのために
- ② あらゆる世代の多様なニーズに応える
- ③ 集いと創造の拠点
- ④ 伝統芸能の継承と発展



- ア 心を豊かにする多彩な鑑賞
- イ 関心・理解・親しみを深める教育普及
- ウ 誰もが主人公となる県民参加

文化を取り巻く人々のプラットフォームとして地域の文化を支援

社会の多様な担い手による創造的活動の支援

様々な分野との連携

国 内 外 と の 交 流

あなたと世界を文化でつなぐ広場

にぎわいと活力を生み出す広場

多様なニーズに応える、安心・安全、快適な施設

財 団 経 営 の 基 盤 強 化

持続的な活動を支える経営の安定化

新しい社会環境での働き方

2025年度決算状況

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小 計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	4,385,670	0	0	0	3,228,780	—	7,614,450
特定資産運用収益	0	0	0	0	354,123	—	354,123
事業収益	829,843,233	542,025,718	9,025,581	551,051,299	10,427,366	△ 2,912,085	1,388,409,813
受取補助金等	146,399,199	0	0	0	0	—	146,399,199
受取負担金	0	0	0	0	0	—	0
特別賛助会会員費	100,000	0	0	0	0	—	100,000
雑収益	200,469	4,023,933	0	4,023,933	0	—	4,224,402
経常収益計	980,928,571	546,049,651	9,025,581	555,075,232	14,010,269	△ 2,912,085	1,547,101,987
(2) 経常費用							
事業費	978,702,749	497,450,797	9,549,322	507,000,119	—	△ 2,912,085	1,482,790,783
管理費	—	—	—	—	21,790,052	—	21,790,052
経常費用計	978,702,749	497,450,797	9,549,322	507,000,119	21,790,052	△ 2,912,085	1,504,580,835
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0	—	0
当期経常増減額	2,225,822	48,598,854	△ 523,741	48,075,113	△ 7,779,783	0	42,521,152
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	—	—	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用	—	—	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	—	0
3 他会計振替額	20,331,193	△ 27,769,609	△ 341,367	△ 28,110,976	7,779,783	—	0
4 法人税、住民税及び事業税	0	6,882,900	0	6,882,900	0	—	6,882,900
当期一般正味財産増減額	22,557,015	13,946,345	△ 865,108	13,081,237	0	0	35,638,252
一般正味財産期首残高	13,731,577	231,427,283	8,389,394	239,816,677	338,780	—	253,887,034
一般正味財産期末残高	36,288,592	245,373,628	7,524,286	252,897,914	338,780	0	289,525,286
II 指定正味財産増減の部							
(1) 基本財産評価益	204,120	0	0	0	136,080	—	340,200
(2) 基本財産評価損	15,096,000	0	0	0	10,064,000	—	25,160,000
(3) 基本財産売却損	0	0	0	0	0	—	0
当期指定正味財産増減額	△ 14,891,880	0	0	0	△ 9,927,920	—	△ 24,819,800
指定正味財産期首残高	583,229,350	0	0	0	388,819,567	—	972,048,917
指定正味財産期末残高	568,337,470	0	0	0	378,891,647	—	947,229,117
III 正味財産期末残高	604,626,062	245,373,628	7,524,286	252,897,914	379,230,427	—	1,236,754,403

グランシップ概要

正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所在地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最大幅	約80m
最高高さ	約60m
開館	平成11年3月13日
駐車場	約400台

グランシップ利用状況

主要施設稼働実績

(単位：％)

年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均
2023	77.5	84.7	67.1	73.0	82.0	76.9
2024	70.0	85.5	71.7	73.3	71.4	74.4
2025	85.9	89.1	79.2	72.0	80.9	76.6

グランシップ来館者数

(単位：人)

年度	来館者数	累計
2023	572,763	16,285,522
2024	586,333	16,871,855
2025	752,828	17,624,683

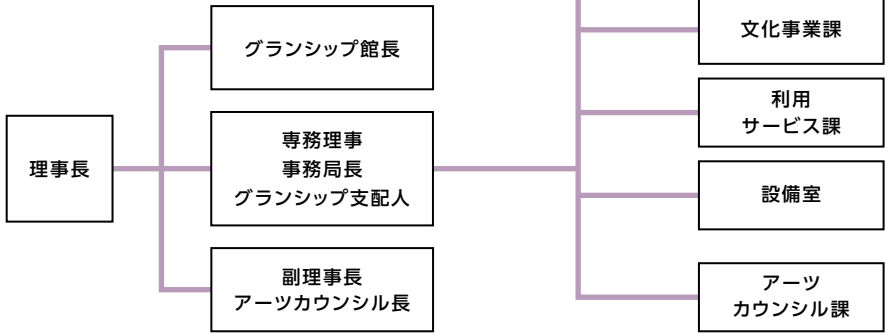
沿革

1984年5月	● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産:県9億円、市町村1億円、県民等47万円) 「文化鑑賞の提供事業」:地域音楽公演 「地域文化の振興事業」:文化団体への助成 「文化意識の啓発事業」:地域文化活動の顕彰 「文化情報の提供事業」:静岡の文化(季刊)の発行
1985年1月	● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
1994年	● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
1995年12月	● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
1996年	● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
1998年3月	● 情報誌「G」発刊
// 11月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～1999年2月)
1999年3月13日	● グランシップ開館
// 3月～	● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
2004年3月～	● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの『源氏物語』」、新作能「利休」他)
2006年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
2008年2月～	● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
2009年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
2011年2月	● 季刊「しずおかの文化」100号で廃刊、新たに「しずおかの文化新書」発行
// 4月	● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する際の交通費支援)」事業開始
2012年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
// 12月	● グランシップと中国浙江省杭州劇院との間で友好交流協定締結
2013年4月	● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
2015年3月末	● 新情報誌「GRANSHIP」発刊
2017年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
2019年3月～	● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭等)
2021年1月	● (公財)静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置
// 4月	● グランシップ1階に「アーツカウンシルしずおか」を開所
2022年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第5期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)

《公益財団法人静岡県文化財団》

(2026年9月現在)

評議員会(評議員9人) 理事会(理事11人) 監事(2人)



《グランシップ運営体制》

グランシップサポーター

【舞台設備運営】
株式会社ステージ・ループ静岡

【設備保守・インフォメーション】
株式会社イノウエテクノ

【警備】
株式会社コアズ

【清掃】
静岡県ビルメンテナンス協同組合

【レストラン・ケータリング】
株式会社なすび